

① 生徒の進路実現を目指した指導力・授業力の向上（言語活動の充実を盛り込む）	課題と目標																																																																																				
<p><b>【具体的な取組の方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新教育課程の検証をしながら、より実態に即した教育課程の編成について検討を進める。（習熟度別・少人数による授業科目や時間等を含む） B【教務】</li> <li>・言語活動の充実を目指した授業実践を継続するなかで、<u>生徒の変容が明確に見られ評価できるように働きかけをする。</u> B【教務】</li> <li>・教科指導研修講座に参加して指導力を向上させる。 B【進路】</li> <li>・国公立個別試験の問題研究を継続して行う。 B【進路】</li> <li>・研修会や研究会等に参加することで新教育課程に関する資料を収集し、<u>伝達講習をする。</u> B【進路】</li> <li>・小中高の授業連携の仕組みを推進する。 B【総務】</li> <li>・図書館利用状況の実態を把握し、不読者数を減らす取り組みをするともに、<u>継続的に図書館を利用する生徒を増やす。</u> B【文化】</li> <li>・「話す」「聞く」等の生徒の表現活動を授業の中に取り入れて、<u>伝え合う力を高める。</u> B【国語】</li> <li>・<u>思考力の育成のために各種資料（史料、統計、地図等）に向き合う場面を設定する。また、読み取った内容を表現するために適した手段を工夫させる。</u> A【地歴公民科】</li> <li>・問題を解く過程を重視し、根拠に基づいて説明することの重要性を理解させる。 A【数学科】</li> <li>・職員間のコミュニケーション能力や発表・質疑応答によるプレゼンテーション能力の育成を図る。 B【理科】</li> <li>・<u>自己の考えや発想を伝える力とその理解力の育成を図り、相互に高め合う集団作りを目指す意識を向上させる。</u> B【保体科】</li> </ul> <p><b>【プロセス】</b></p> <p><b>【教務課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新教育課程における理系の理科の単位数変更について、教科会議を経た後、教育課程委員会を行った。来年度に向けて、数学と理科の学校設定科目を設ける作業をしている。</li> <li>・H24年度に引きつづき「言語活動の充実」をテーマに、授業見学第1回（6/17～6/28）・第2回（11/12～11/22）を実施した。生徒アンケートでは3年次生の変容が顕著ではなかった。</li> </ul> <p><b>【進路課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業見学 岡山操山 6/6, 7/17 邑久 6/6 落合 6/7 矢掛 6/10 総社 6/12, 10/2 倉南 6/13 岡工 6/18 芳泉 9/27, 11/19 大安寺 10/3 西大寺 10/24 笠岡 10/30 青陵・倉南 11/1 岡山南 11/8 岡山後楽館中高 11/19 岡山城東 12/27</li> <li>・教員研修プログラム 河合塾（5名）駿台（3名）内訳（国語1名、地理1名、数学2名、物理1名、化学1名、生物1名、英語1名） 報告書を教科内回覧の形で伝達した。</li> <li>・岡山大学入試問題の解答・解説の冊子を作成し、3年次生には希望者に1冊、1・2年次生にはHRごとに3冊配布した。大阪大学入試問題の解答・解説を研究したが、未完成に終わってしまった。</li> </ul> <p><b>【総務企画課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業見学 川上中学校研究授業 5/28（英語）、高梁中学校研究授業 6/24（数学）その後小中による意見交換会に参加した。高梁中学校授業見学 11/25（国・社・体）その後意見交換会に参加した。</li> <li>・出前授業 川上中学校 7/9（英語・家庭） 成羽中学校（家庭） 7/17 成羽中学校（数学・英語） 11/20 有漢中学校（数学） 11/21</li> <li>・H23年度に改善された項目による授業アンケート（6月17日～7月5日）を実施し、集計結果データを提示した。</li> </ul> <p><b>【文化課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書キャンペーン（5/20～6/19, 10/28～11/29）を実施した。</li> <li>・ライブラリーニュース（マンスリー）を10号発行した。生徒はライブラリーニュースやブックコレクションで紹介された本を借りている様子が見られた。</li> </ul> <p><b>【家政科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人講師授業を中心に各教員1～2回程度の授業参観ができた。</li> </ul> <hr/> <p><b>（続き）【具体的な取組の方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>想像力を働かせ自分なりの意見をまとめて発表できる力を身につけさせる。</u> B【芸術】</li> <li>・4技能の学習到達目標を明示したCan・Doリストを作成する。 B【英語科】</li> <li>・外部講師などの授業見学を行い、専門性を深め教科指導力を高める。 B【家庭科】</li> </ul> <p><b>【結果等】</b></p> <p><b>【教務課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科2単位を希望していたが、1単位割り当てることができた。残り1単位分は、当面はHSTと補習を有効利用することで対処する。</li> <li>・担当教科・他教科について、少なくとも各1時間の見学を目標とし授業見学を実施し、全員が見学した。他教科に関しては、9割が授業参観をした。第2回では、授業見学ができない先生のために、ビデオ撮影をした。</li> <li>・協議する時間を放課後確保するのが難しいので、授業時間中に確保できるようにしたが、公開授業の振り返りは不十分であった。</li> <li>・授業見学後の感想例（参考になった点）（1）生徒に発表させるだけでなく、生徒による質疑応答は自分の授業に取り込める。（2）発問の工夫次第で、生徒の雰囲気や和らぎ活発な動きを導く。</li> <li>・「授業見学は授業力向上に役立つか」 大変役立つ36% 役立つ57%（空白5%）</li> </ul> <p><b>【進路課】</b></p> <div data-bbox="1424 777 2493 1134"> <p><b>1 1月校外模試SS50以上の割合（%）</b></p> <table border="1"> <caption>1月校外模試SS50以上の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>平成23</th> <th>平成24</th> <th>平成25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年次</td> <td>50.5</td> <td>40.0</td> <td>32.5</td> </tr> <tr> <td>2年次</td> <td>36.8</td> <td>48.5</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>3年次</td> <td>32.0</td> <td>43.2</td> <td>29.1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p><b>【文化課】 学年別貸出総冊数</b></p> <div data-bbox="1424 1197 1988 1449"> <p><b>貸出冊数（平成24・25年）</b></p> <table border="1"> <caption>貸出冊数（平成24・25年）</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>平成24</th> <th>平成25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>1073</td> <td>1517</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>990</td> <td>893</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>2966</td> <td>1092</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>5029</td> <td>3502</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p><b>学年別不読者数</b></p> <div data-bbox="2018 1197 2522 1449"> <p><b>不読者数（図書館で本を借りていない生徒の数）</b></p> <table border="1"> <caption>不読者数（図書館で本を借りていない生徒の数）</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>平成24</th> <th>平成25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>7</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>11</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>21</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p><b>貸出冊数別割合（平成24・25年）</b></p> <div data-bbox="1424 1533 2018 1848"> <table border="1"> <caption>H24年度 貸出冊数別割合</caption> <thead> <tr> <th>冊数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21冊～</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>11～20冊</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>5～10冊</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>1～4冊</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td>0冊</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>H25年度 貸出冊数別割合</caption> <thead> <tr> <th>冊数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21冊～</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>11～20冊</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>5～10冊</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>1～4冊</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>0冊</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p><b>図書館で本を借りない生徒の実態調査</b></p> <div data-bbox="2047 1533 2522 1848"> <p><b>読む本はどこで手に入れますか（複数回答）</b></p> <table border="1"> <caption>読む本はどこで手に入れますか（複数回答）</caption> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入する</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>学校図書館で借りる</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>自宅にある本を読む</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>友人から借りる</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>学校以外の図書館で借りる</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> </div>	学年	平成23	平成24	平成25	1年次	50.5	40.0	32.5	2年次	36.8	48.5	50.0	3年次	32.0	43.2	29.1	学年	平成24	平成25	1年	1073	1517	2年	990	893	3年	2966	1092	全体	5029	3502	学年	平成24	平成25	1年	7	18	2年	3	5	3年	11	19	全体	21	42	冊数	割合	21冊～	11%	11～20冊	15%	5～10冊	23%	1～4冊	48%	0冊	3%	冊数	割合	21冊～	8%	11～20冊	8%	5～10冊	20%	1～4冊	58%	0冊	6%	場所	割合	購入する	200	学校図書館で借りる	150	自宅にある本を読む	100	友人から借りる	50	学校以外の図書館で借りる	50	その他	50	<p>○指導力・授業力を向上させる取り組みが次第に充実してきている。さらにレベルアップをめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業見学は自教科、他教科とも定着してきた。教員の意識も高まってきている。継続する。</li> <li>・言語活動を意識した授業への取り組みも各教科工夫が見られるようになってきている。さらに進める。</li> <li>・校外での授業研修の報告書は回覧で終わり、教科内での共有、研究協議まではできていない。教科会議の定着化を進める。</li> <li>・進路研修会での活発な意見交換はまだ不十分である。進路研修会や検討会での進路指導の継続性を意識した取り組みを進める。</li> <li>・小・中学校との授業連携は始まったばかりである。さらに充実させる。</li> </ul> <p>○校外模試偏差値50以上の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全年次 50%</li> </ul> <p>○国公立大学合格者数</p> <p>40</p>
学年	平成23	平成24	平成25																																																																																		
1年次	50.5	40.0	32.5																																																																																		
2年次	36.8	48.5	50.0																																																																																		
3年次	32.0	43.2	29.1																																																																																		
学年	平成24	平成25																																																																																			
1年	1073	1517																																																																																			
2年	990	893																																																																																			
3年	2966	1092																																																																																			
全体	5029	3502																																																																																			
学年	平成24	平成25																																																																																			
1年	7	18																																																																																			
2年	3	5																																																																																			
3年	11	19																																																																																			
全体	21	42																																																																																			
冊数	割合																																																																																				
21冊～	11%																																																																																				
11～20冊	15%																																																																																				
5～10冊	23%																																																																																				
1～4冊	48%																																																																																				
0冊	3%																																																																																				
冊数	割合																																																																																				
21冊～	8%																																																																																				
11～20冊	8%																																																																																				
5～10冊	20%																																																																																				
1～4冊	58%																																																																																				
0冊	6%																																																																																				
場所	割合																																																																																				
購入する	200																																																																																				
学校図書館で借りる	150																																																																																				
自宅にある本を読む	100																																																																																				
友人から借りる	50																																																																																				
学校以外の図書館で借りる	50																																																																																				
その他	50																																																																																				

② 学習習慣の確立（自主的な学習を目指して）

課題と目標

【具体的な取組の方向】

・年間を通して学習実態調査を行う。自己目標をたて日々の学習を振り返りながら学習する習慣を確立させる。家庭学習時間が3時間を超える生徒の割合が7割を超える。

B【進路】

・学習実態調査を通して、各教科の時間配分を把握し、バランスのとれた学習習慣を目指す。 B【進路】

・「進路のてびき」の改訂。 B【進路】

・授業の小テストに向けての取り組みの他、授業ごとの予習・復習となる学習や週末課題を課す。 B【国語】

・復習の習慣を定着させるために週末課題の出し方を工夫する。小テストを定期的実施する。 B【国語】

・1及び2年次生では、平日課題及び週末課題を課し学習時間の確保を図る。 B【数学】

・定期的な課題（当日課題・週末課題）の実施と期限厳守での提出を促す。課題の提出状況を把握するための一覧表を週単位で提示し、状況の好くない生徒には随時面談を行い指導する。 B【理科】

・授業で学習した内容の定着を図るために、家庭で復習とすべきことを具体的に示し、小テスト等で評価する。 B【英語】

・学習進度表や年間学習計画表を提示し、生徒自身に先を見通した自主的な学習計画をたてて取りこませることで、提出等の提出期限を守らせる。 B【家政科】

・教科担任とクラス担任とで、生徒の授業中の様子や課題の提出状況などの情報交換を密にして指導にあたる。 B【1年次】

【プロセス】

【進路課】

・学習実態調査を4月・6月・9月・11月に実施した。（3年次は4月・6月）  
・11月の実態調査では、普通科家庭学習時間3時間以上の割合が2年次75%・1年次35%、家政科家庭学習時間2時間以上の割合が2年次42%・1年次57%であった。

・各年次で模試の反省を行い、教科の現状認識と課題把握を行った。

・「進路の手引き」（天分發揮）を発行し全員に配付した。学校説明会を利用し、中高の学習習慣の接続に資する目的で中学校側に配付した。

・H24年度に引き続き「合格体験記」（向上進取）を発行し全員に配付した。

・12月末に、1・2年次生担任団でミニ検討会を行い、学習状況・学業成績・進路志望を中心とした情報を共有した。

・出願時の書式の改善を行った。

【家政科】

・朝礼連絡、居残り指導や提出物一覧の教室掲示により、提出状況の向上に努めた。提出期限内の提出は3学年全体で80%だった。

【1年次】

・夏及び冬課題の提出状況を学年で把握し、教科・担任・学年全体で未提出者の指導にあたった。

・学習実態調査により、週末の学習時間の確保が不十分である事が明らかとなり日々の学習時間と週末のそれを含め一週間の学習計画を立てさせる必要性を確認した。

【2年次】

・長期休業中の課題提出を学年で把握し、未提出者の指導を学年全体で行った。提出率 家政科 97.2% 普通科 98.1%

・模試の結果を参考に教科のバランスを考慮し、課題の分量を年次団の合意により調整を行い有効に機能した。

・応用力を養うために成績優秀層には自発的に学習させる方策を講じ、模試偏差値40以下の層をなくすべく小テストの追試指導により基礎力の徹底を図った。

【3年次】

・通常の年次通信は順調に発行したが、保護者用進路版通信を3回の発行にとどまった。

・年次通信や保護者用進路版通信をとおして情報発信を行った。

・『最後まで みんなで いっしょに がんばろう』を合い言葉に3年間指導を行い、進路指導の成果としては、大学入試センター試験出願者が85%であった。

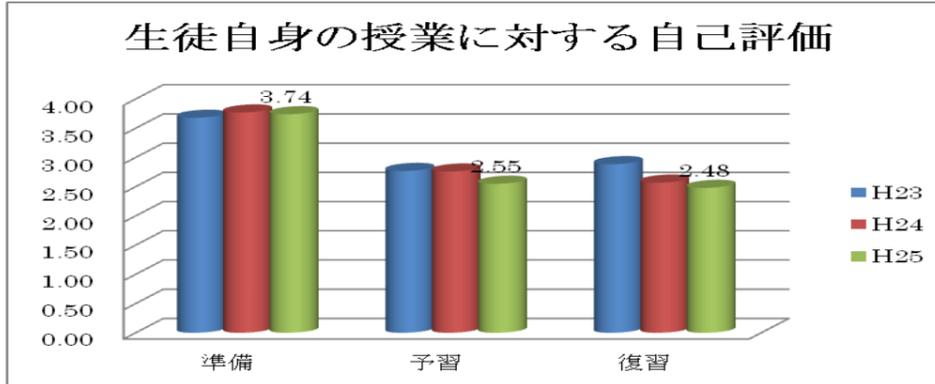
（続き）【具体的な取組の方向】

・教科間の課題の分量を調節し、生徒が自主的に学習できるよう指導する。課題の未提出者については学年次団で指導する。 B【2年次】

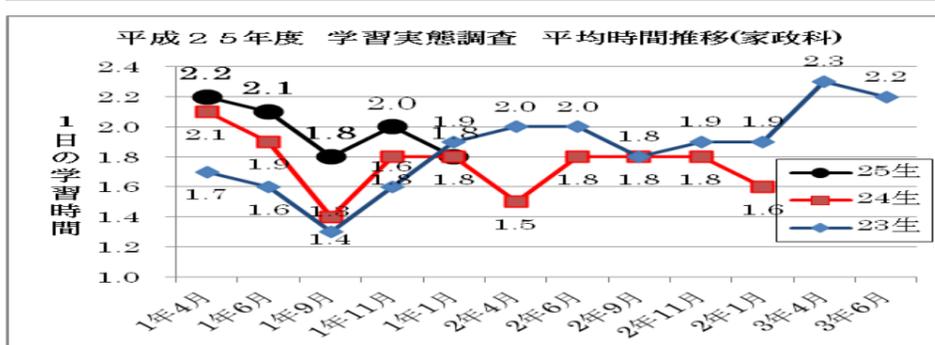
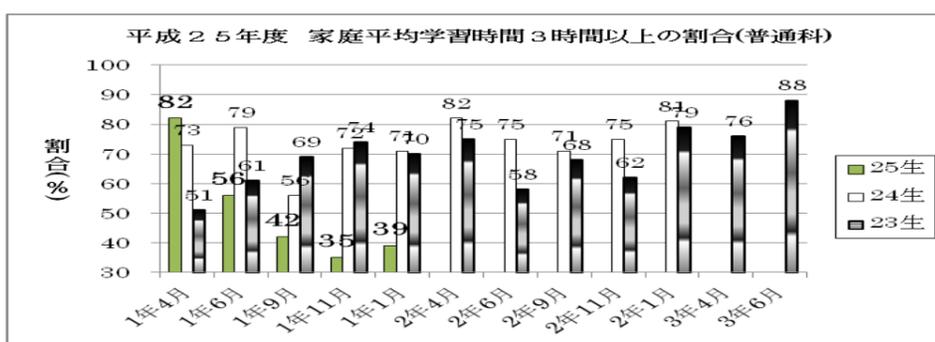
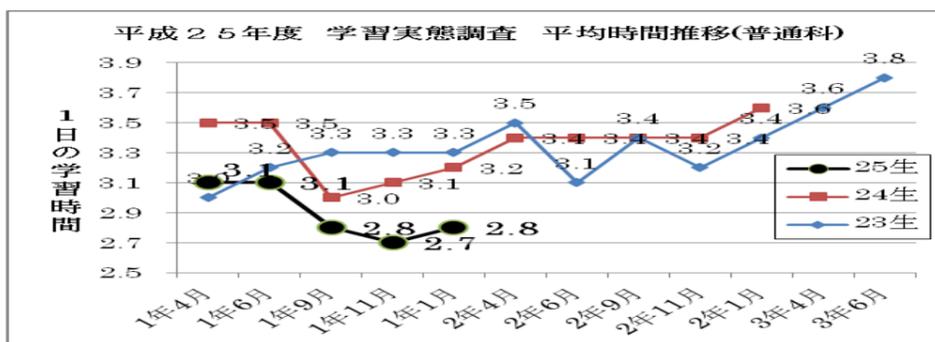
・年次通信の内容を工夫し、学習習慣の確立するための適切かつ必要な情報を保護者に発信することにより、保護者との積極的な連携を図る。 B【3年次】

【結果等】

【総務企画課】授業アンケート（4そう思う 3, 2, 1そう思わない）



【進路課】



○家庭学習時間は着実に増加してきており、取り組みの成果がみられるが、予習・復習ができたとの実感はない。自主的な学習を目指す取り組みを進める。

・家庭学習時間が目標を下回る生徒には、面談や声かけを通して学習状況を把握するとともに、学習意欲を喚起する。

・生徒がより自主的に取り組めるよう、課題や小テストの内容を工夫する。

・年次通信を工夫し、家庭の理解や協力を得られるよう連携を図る。

○平均家庭学習時間  
・家政科 2.0時間以上

・普通科  
1・2年 3.5時間以上  
3年 4.0時間以上

○平均家庭学習時間  
3時間以上の割合  
普通科 70%以上

○授業アンケート  
「予習復習をしている。」  
普通科 3.0以上

③ 生徒が自主性を発揮できる場面の工夫と内容の充実

課題と目標

【具体的な取組の方向】

・生徒会活動の充実を図る。生徒会執行部から各委員会へ活動内容を提案し、企画を実現させる。

C【生徒】

・生徒が地域連携について研究し、企画する場面を提供する。

A【総務企】

・美化に対する意識の高揚と自主的活動を促すため、日常の清掃活動や古紙回収、整理整頓の呼びかけ活動や学校周辺の清掃活動を行う。

B【厚生】

・地震を想定した避難訓練を実施し生徒が自主的に危険回避できるような心構えを養う。

B【厚生】

・家庭クラブを中心に地域との交流を充実させ、活動の中で生徒主体の場面を増やす。

A【家政科】

・各寮内において、寮長、副寮長を中心とした「自主」「自律」の運営を活発にできるように毎週木曜日に各寮において反省会を行う。

B【寄宿舎】

【プロセス】【生徒課】

・松籟祭（文化祭・体育祭）の運営・文化祭における全校制作は、生徒会執行部から各委員会や全校生徒への呼びかけをとおして、活動内容を提案し企画を実現する方式は定着している。

・現状にさしたる不満もなく、執行部による新たな提案や企画を積極的に推進する雰囲気になっていない。目標設定から考え直す時期にある。

・吉備国際大学・高梁城南高校・高梁日新高校・本校生徒会で恒例のキャンドルナイトを10/4に紺屋川沿いで実施した。（7月実施予定が降雨のため延期）

【総務企画課】

・オープンスクールのスタッフおよび中学校別交流会の各出身中学校の代表者をボランティアで応募し、生徒会執行部と協力して企画運営する方式は定着した。

・1年次生を対象に「高梁を知る」という企画を立て、地域に出向き、グループごとに掲げた研究テーマをもとにインタビュー等を行いその成果を文化祭で発表した。郷土を深く理解するきっかけとなった。

・「栄町活性化事業」については、生徒実行委員会を創設し、実行委員会を開き、11月24日（日）のイベントに総勢120名が参加した。市の活性化のために高校生ができることは何か、企画実践させたい。

【厚生環境課】

・ゴミ分別の意識は定着している。

・校外での清掃活動は後期に実施予定であるが、社会貢献活動とのタイアップを視野に入れて来年度の活動を立案する。

・防災マニュアルを刷新し、緊急地震速報を取り入れた防災避難訓練を行った。

【文化課】

・図書委員会制作の「金子みすゞのモザイク画」を金子みすゞ記念館で展示する。（6月1日から8月31日）

【家政科】

・「子どもフェスタ」に参加し、地域とのふれあいに主体的に取り組めた。

・「子どもと親の学習フェスタ」に参加し、また「栄町活性化事業」のイベント（「地紅茶まつり」11月24日実施）にも参加し活動の幅を広げられた。

・平成25年度家政科展（平成26年1月24日～25日）を実施した。

【寄宿舎】

・各寮における定例の反省会（毎週木曜日）について、寮長を中心に行うことができ「自主」「自律」的な運営ができています。寮長と舎監長との情報交換会の頻度に対し、副寮長との情報交換が課題である。

【人権教育係】

・「平成24年度・25年度 岡山県高等学校等人権教育研究モデル推進校指定授業研究」の完成年度を迎えた。6月24日の第1回タテ割りLHRでは「たか高、どう思う？」のテーマで、11月8日の第2回タテ割りLHRでは「男女差別・ジェンダー問題」のテーマで研究モデル事業発表の公開LHRを行った。『タテ割りLHR』により、異なる学科・年次・男女を融合したLHRは生徒にも好評であり、司会進行、発表形態、グループ分け等随所に生徒による企画運営が随所に生かされ、全生徒と教職員が一体となった活動ができた。

【結果等】【生徒課】 **全校制作「ONE」 紺屋川のキャンドルナイト**



文化祭・体育祭の入場者数

	文化祭入場者数	体育祭入場者数
平成23年	546	132
平成24年	517	141
平成25年	439	146

【部活動等成績】

ソフトボール部

- 平成25年度岡山県高等学校春季ソフトボール選手権大会 準優勝
- 第37回中国高等学校男子ソフトボール選手権大会 優勝
- 平成25年度 岡山県総合体育大会ソフトボール競技 準優勝
- 第68回国民体育大会ソフトボール競技 岡山県選抜チーム 準優勝  
三村友洋（主将）上杉球太 亀山健吾 小見山拓也  
平方健太 藤井翔吾 鳥岡 健 山本鉄也

- 平成25年度岡山県高等学校秋季ソフトボール選手権大会 準優勝
- 第17回中国高等学校男子ソフトボール新人大会 第3位

コーラス部

- 第80回NHK全国学校音楽コンクール 岡山県コンクール 金賞
- 第66回岡山県合唱コンクール 銀賞
- 第80回NHK全国学校音楽コンクール 中国ブロックコンクール 銅賞

ダンス

- 平成25年度西日本ダンスドリル秋季競技大会ヒップホップ部門 男女混成スモール編成 第1位

ソフトテニス部

- 平成25年度備中支部総体備北地区学校対抗ソフトテニス大会 優勝
- 平成25年度岡山県高等学校新人ソフトテニス大会備北地区予選会 優勝 植木基行・熊本良輝 3位 小堀誠治・宮田脩二

美術部 岡山県高等学校美術展 片山あかり「おう、なんなあ」 準特選 家政科

- 岡山県酪農乳業協会 牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会 優良賞 假谷 有利
- 第60回岡山県高等学校家庭クラブ研究発表大会 備中支部大会 優良賞 八石 麻未
- 第59回青少年読書感想文岡山県コンクール 優秀賞 赤木 美沙子 『塩狩峠』を読んで

○学校行事や委員会活動における生徒の自主的な活動は定着してきた。さらに充実させるとともに、学校内外、特に校外での生徒の自主性を育む場面を工夫する。

・生徒会執行部と各種委員会の連携の推進

・美化委員会による古紙回収や清掃活動の取り組みの充実

・家庭クラブ活動のさらなる充実

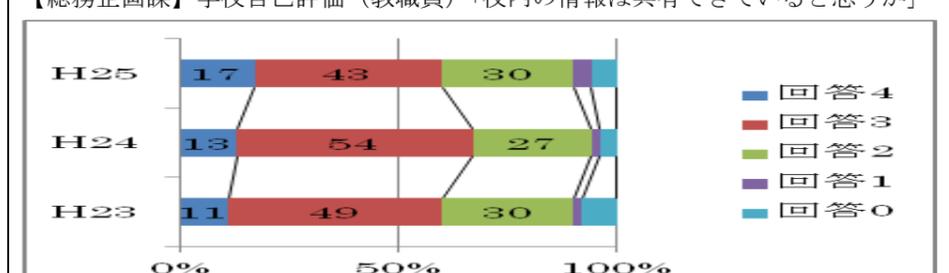
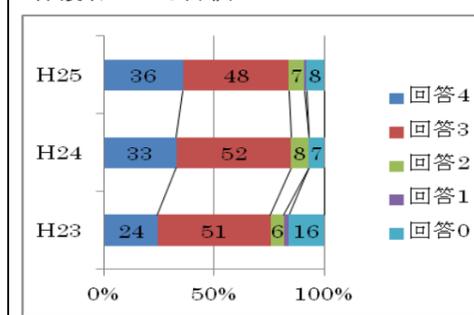
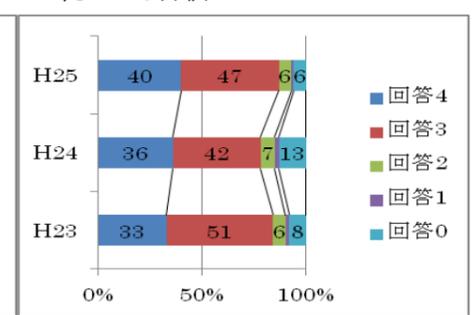
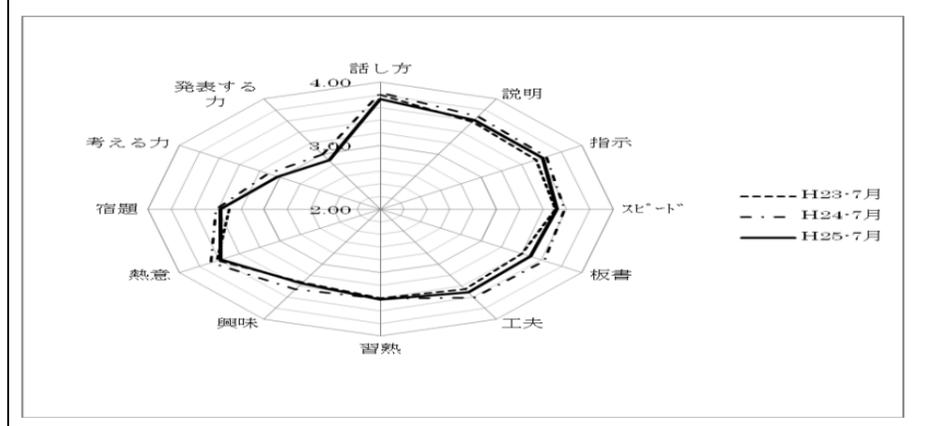
・総務企画課を中心とした地域連携の充実

・部活動による地域連携への参加の推進

・生徒の主体性を育む社会貢献活動の研究

・縦割りLHRの定着

○学校生活や地域連携等のいろいろな場面で、生徒が主体的に考え行動できるよう、場面の設定や支援を行う。

④ 情報を共有し課題意識を持って組織的に取り組むことができる協働体制作り。		課題と目標																																																
<p><b>【具体的な取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別入学者選抜の実施に向け、内容等の検討を組織的に行うとともに、総務企画課とも連携し積極的に情報発信をする。 B【教務】</li> <li>・学籍システムの入力マニュアル（指導要録作成用）をさらに使いやすいものにする。 C【教務】</li> <li>・職員室（放送室を含む）の環境整備を厚生環境課と連携・協力して行い、情報共有をしやすくする。 B【教務】</li> <li>・学年対応、他の課との情報共有・交換の徹底と効率化を図る。 B【生徒】</li> <li>・各年次が進路通信を発行し、進路情報の共有化を図り、進路指導の方向性を共通理解する。 B【進路】</li> <li>・定例の進路課会議を行い課題の発見と対策を検討し、共通理解を図る。 B【進路】</li> <li>・3年間を見通した進路指導を行う。 B【進路】</li> <li>・定例の会議を開催し、行事の情報交換を行って、ホームページの充実等に繋げる。 A【総務】</li> <li>・3年間で、生徒を育て鍛えるために必要な情報を共有する。 B【1年】</li> <li>・3年間で生徒を育て鍛えるために、生徒の状況を細かく把握し、担任会等を通して連絡を密にする。 B【2年】</li> <li>・進路課と連携を図り、外部から得た情報を年次団教員が共有できる体制作りを行うことにより、生徒の進路実現に組織的に取り組む。 A【3年】</li> <li>・事務室内朝礼の充実を図るとともに職員朝礼で連絡・情報提供を行う。 A【事務室】</li> </ul>	<p><b>【プロセス】</b></p> <p><b>【教務課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別入学者選抜の実施に向けて、計画どおり実施できた。</li> <li>・指導要録作成に関わる学籍システムの入力マニュアルの改善はできている。</li> <li>・教務室内及び放送室の整理整頓を行った。今後は、教員室内の整備を環境厚生課や事務室と連携して進めたい。</li> </ul> <p><b>【生徒課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動に係る申し合わせ事項について整理と見直した。今後は、各種様式について見直しを行いたい。</li> </ul> <p><b>【進路課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路通信の発行目標を各年次とも10号としている。2年次は14号、1年次は8号発行した。</li> <li>・定例の進路課会議を25回実施して、学習合宿・特別授業、休業中の補習などについて議論し共通理解を図った。</li> <li>・校内での「センター入試説明会（3年次生）」には他学年の進路課も参加した。</li> <li>・ミニ検討会には年時を超えての参加があったが、積極的に意見交換を行いたい。</li> </ul> <p><b>【総務企画課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議を8回実施した。ブログの更新回数目標160回以上を達成できた。</li> </ul> <p><b>【1年次団】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会や年次会等で生徒についての情報交換を行った。</li> </ul> <p><b>【2年次団】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間5回の面接週間やHR・総合的な学習の時間等を利用して、生徒の進路意識を育むことができた。ミニ検討会を行い進路志望に係る情報を共有し次年度への備えとした。</li> </ul> <p><b>【3年次団】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路面、生徒指導面においても情報を共有し組織的な取組ができた。</li> </ul> <p><b>【理科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科会を12回実施した。授業の進度・指導方法など、昨年度と比較して大いに情報の共有ができた。また、薬品管理の協働体制を図れた。</li> </ul> <p><b>【家政科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPのブログに40回アップし、校外での「家庭クラブ新聞」の掲示等、家政科のPR活動を積極的に行えた。</li> </ul> <p><b>【事務室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室内朝礼での情報交換や、事務室予定表に入力することにより情報共有がしやすくなった。</li> <li>・サーバー内データ内の各種様式等の整理ができた。</li> </ul> <p><b>（続き）【具体的な取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して週1回の教科会議を行い、生徒の自主的な学習習慣の確立・指導方法の研究など、情報交換・協働体制を図る。 B【理科】</li> <li>・家政科のPRを積極的に行う。ホームページやブログ等の広報を積極的に行い、年間30回以上タイムリーにアップする。 A【家政科】</li> </ul>	<p>○各分掌内、各年次内での情報の共有は定着してきた。分掌間、年次間の情報の共有も進んできたが、まだ不十分である。さらに分掌と年次の情報の共有による連携の充実も進める。</p> <p>○各分掌、各年次の組織的な動きは進んできた。日頃の仕事だけでなく、課題の発見や解決のための取り組みに組織的に取り組めるようさらに工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課長連絡会（週1回）</li> <li>・主任連絡会（月1回）</li> <li>・教科及び分掌フォロー会での組織的な取り組みの確認</li> <li>・課会議、年次会議の充実</li> <li>・教科会議の充実</li> </ul> <p>○自己評価アンケート（情報の共有）「どちらかと言えばそう思う」以上80%以上</p> <p>○学校満足度「どちらかと言えばそう思う」以上90%以上</p>																																																
<p><b>（続き）【プロセス】</b></p> <p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課長連絡会を24回、年次主任会を5回実施し、学校運営について連絡調整及び課題の共有を行った。</li> <li>・全教科フォロー会を8月の下旬に1時間行い、共通の課題を明らかにした。</li> <li>・分掌フォロー会及び年次主任会を10月上旬から中旬にかけて1時間行い、学校経営目標に沿って、課・年次主任会における各自の目標達成状況を報告し、共通理解を図り、後期の課題を明らかにした。</li> </ul>																																																		
<p><b>【結果等】</b></p> <p><b>【総務企画課】</b> 学校自己評価（教職員）「校内の情報は共有できていると思うか」</p>  <table border="1"> <caption>学校自己評価（教職員）「校内の情報は共有できていると思うか」</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回答4</th> <th>回答3</th> <th>回答2</th> <th>回答1</th> <th>回答0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>17</td> <td>43</td> <td>30</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>13</td> <td>54</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>11</td> <td>49</td> <td>30</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		年度	回答4	回答3	回答2	回答1	回答0	H25	17	43	30	8	2	H24	13	54	27	4	2	H23	11	49	30	6	2																									
年度	回答4	回答3	回答2	回答1	回答0																																													
H25	17	43	30	8	2																																													
H24	13	54	27	4	2																																													
H23	11	49	30	6	2																																													
<p><b>【総務企画課】</b> 学校自己評価アンケート「高梁高校は、生徒を成長させてくれる学校だと思う」</p> <p><b>保護者による評価</b></p>  <table border="1"> <caption>保護者による評価</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回答4</th> <th>回答3</th> <th>回答2</th> <th>回答1</th> <th>回答0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>36</td> <td>48</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>33</td> <td>52</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>24</td> <td>51</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>生徒による評価</b></p>  <table border="1"> <caption>生徒による評価</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回答4</th> <th>回答3</th> <th>回答2</th> <th>回答1</th> <th>回答0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>40</td> <td>47</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>36</td> <td>42</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>33</td> <td>51</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		年度	回答4	回答3	回答2	回答1	回答0	H25	36	48	7	8	1	H24	33	52	8	7	1	H23	24	51	6	16	2	年度	回答4	回答3	回答2	回答1	回答0	H25	40	47	6	6	1	H24	36	42	7	13	2	H23	33	51	6	8	2	
年度	回答4	回答3	回答2	回答1	回答0																																													
H25	36	48	7	8	1																																													
H24	33	52	8	7	1																																													
H23	24	51	6	16	2																																													
年度	回答4	回答3	回答2	回答1	回答0																																													
H25	40	47	6	6	1																																													
H24	36	42	7	13	2																																													
H23	33	51	6	8	2																																													
<p><b>【総務企画課】</b> 授業アンケート結果（生徒による授業評価）</p>  <p>Legend: --- H23・7月, - - - H24・7月, — H25・7月</p>																																																		